

Visual Studio Code の設定を保存する **設定ファイル** には3種類あります。

- 1)   
%appdata%\Code\User に保存される基本的な設定ファイル( settings.json )です
- 2)   
その名の通り、任意のフォルダを一つにまとめて共通の作業を行う場合に作成されるファイル内に設定が記述されます ( フォーマットは JSON )
- 3)   
対象のルートに .vscode フォルダを作成して、settings.json を置いてその中に設定情報を記述します

VSCoide のキャラクタセットはデフォルトは **UTF-8** ですが、設定によって言語や拡張子に従って SHIFT\_JIS で開く事ができます。しかし、設定外でどうしても SHIFT\_JIS でテキストファイルを開きたい場合の為に、設定の先頭に  : "shiftjis" を置いておいて、先頭のハイフンを一時的に削除して SHIFT\_JIS を強制します。

VSCoide の運用で最も重要になるのが  の扱いです。この呼び名は一般的な呼び名であり、Windows での実体は  と呼ばれているものです。また、このアプリケーションの実行処理をメニュー化できる  という拡張が**現在最も重要な拡張**です。

既定の設定では、 キーで全てのコマンドの表示という機能が割り当てられています。この機能で表示される入力フィールドから VSCoide で定義されている内部コマンドを実行する事ができます。

また、それらのコマンドはユーザが個別の  を登録できるようになっているので、作業に役立つ操作は登録しておきます。それらの定義された情報は、%appdata%\Code\User 内に JSON ファイルとして保存されます。この情報を VSCoide 内から見るには  にユーザ設定していますので使用してください。

VSCoide 内の**テキストの印刷**は、拡張を使用して  の印刷機能を利用します。拡張名は解りやすく、 という名前なのですぐに検索してインストール可能です。但し、**印刷結果に使われるフォント**は拡張側で設定したほうが良い事が解っています。

```
"print.markdownRenderingBodyStyle": "background-color: white; font-family:¥"メイリオ¥", serif; font-size:13pt;","print.markdownRenderingHeadingStyle": "font-family:¥"メイリオ¥", sans-serif;","print.markdownRenderingParagraphStyle": "font-family:¥"メイリオ¥", serif;","print.markdownRenderingTableDataStyle": "font-family:¥"メイリオ¥", sans-serif; border-top:thin solid grey; border-left:thin solid grey;","print.markdownRenderingTableHeadingStyle": "font-family:¥"メイリオ¥", sans-serif; font-weight:400; border-top:thin solid grey; border-left:thin solid grey; ","print.markdownRenderingTableStyle": "font-family:¥"メイリオ¥", sans-serif; border-top:thin solid grey; border-left:thin solid grey;","
```

copy

VSCoide 内のエクスプローラに新たなフォルダを追加したい場合は、Windows のエクスプローラから  してください。

設定の検索フィールドで  と入力すると、**【キーを押しながらマウス ホイールを使用してエディターのフォントをズームします】** が先頭に表示されるので、チェックボックスをチェックしておきましょう。